

令和 5 年 第 1 回

武蔵村山市教育委員会臨時会

令和 5 年 8 月 1 0 日

武蔵村山市教育委員会

令和5年第1回武蔵村山市教育委員会臨時会

1 日 時 令和5年8月10日（木）

開会 午前 9時30分

閉会 午後 1時59分

2 場 所 さくらホール（市民会館）大ホール

3 出席委員 池谷光二（教育長） 大野 順 布
杉原 栄 子 比留間 雅 和
潮 美 和

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	鈴木 義雄	学校教育担当部長	東口 孝正
教育総務課長	佐藤 哲郎	指導・教育センター担当課長	加藤 由裕
指導主事	石井 和成	指導主事	丹羽 千晶
教科書採択資料作成委員会委員長		吉成かおる	
教科書採択資料作成委員会委員		川口 周作	
教科書採択資料作成委員会委員		佐々木 琢	
教科書採択資料作成委員会委員		中村 清敬	
教科書採択資料作成委員会委員		井内 潔	
教科書採択資料作成委員会委員		高瀬隆太郎	
教科書採択資料作成委員会委員		押本 純樹	
教科書採択資料作成委員会委員		井口 洋	
教科書採択資料作成委員会委員		島田 治	

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策係 岡宮 輝
阿部 詩織

議事日程

- 1 会期の決定
- 2 議案第44号 武蔵村山市立小学校令和6年度使用教科用図書の採択について
- 3 議案第45号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和6年度使用教科用図書の採択について
- 4 その他

◎開会の辞

○池谷教育長 本日の会議に際しまして、29名の方から傍聴の申出があり、武蔵村山市教育委員会会議規則第29条の規定に基づき、会議の傍聴を許可しましたので報告いたします。

本日の出席委員は全員でございます。

これより、令和5年第6回武蔵村山市教育委員会定例会を開会いたします。

◎議事日程の報告

○池谷教育長 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりでございます。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認め、配布のとおり決定いたします。

◎日程第1 会期の決定

○池谷教育長 日程第1、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期は、本日限りといたしたいと思えます。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

◎日程第2 議案第44号 武蔵村山市立小学校令和6年度使用教科用図書の採択について

○池谷教育長 日程第4、議案第44号 武蔵村山市立小学校令和6年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

武蔵村山市教育委員会会議規則第15条の規定により、武蔵村山市立小学校令和6年度使用教科用図書の採択に係る説明のため、教科書採択資料作成委員会委員の出席を求めます。

しばらくお待ちください。

(教科書採択資料作成委員会委員 入室)

○池谷教育長 委員の校長先生方、お忙しい中、ありがとうございます。本日は、何とぞよろしく願いいたします。

議案の朗読は省略させていただきます。

議案第 44 号の提案理由を説明させていただきます。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条の規定により、小学校令和 6 年度使用教科用図書を採択する必要があるので、本案を提出するものでございます。

よろしく御審議の上、御決定を賜りたくお願い申し上げます。

なお、別紙につきましては、協議終了後に配布させていただきます。

教科用図書、これは教科書のことですが、教科用図書採択の事務につきましては、この後、加藤指導・教育センター担当課長より説明をいたさせ、その後、教科書採択資料作成委員会から報告のありました内容につきまして、教科書採択資料作成委員会の吉成かおる委員長より説明をいたさせます。

なお、説明の後、御質問がございましたら、各教科の委員がお答えいたしますので、よろしく願いいたします。

加藤指導・教育センター担当課長、お願いします。

○加藤指導・教育センター担当課長 議案第 44 号 武蔵村山市立小学校令和 6 年度使用教科用図書の採択について、3 点、御説明申し上げます。

1 点目は、全ての教科書を調査対象とする採択資料の作成事務についてです。

武蔵村山市立学校令和 6 年度使用教科用図書採択要領に基づき、学校調査会、教科書調査研究委員会及び教科書採択資料作成委員会を設置いたしました。

資料作成に当たっては、次の 3 つの観点から調査研究を依頼しました。

1 点目が内容、2 点目が構成上の工夫、3 点目が特長についてです。

なお、学校調査会につきましては、特長についてのみ調査研究を依頼しました。

お手元には、資料 1、教科書採択資料作成委員会報告書を配布させていただいております。

2 点目は、教科書展示会及び御意見等に関する報告です。

今年度は、武蔵村山市教育センター及び三ツ木地区図書館の 2 か所を会場といたしました。教育センターでは、法定展示及び特別展示を令和 5 年 6 月 12 日から 7 月 4 日まで、計 17 日間行いました。三ツ木地区図書館では、法定展示及び特別展示を令和 5 年 6 月 12 日から 7 月 2 日まで、法定展示及び特別展示を計 20 日間行いました。

当展示会に来場され、来室者カードを御提出いただいた方は延べ 53 名でございました。そ

のうち市内小・中学校児童・生徒の保護者と記入された方が5名、市内在住と記入された方が45名、市外在住と記入された方が3名でした。

また、お寄せいただいた御意見の総数は43件でした。そのうち、市内小・中学校児童・生徒の保護者と記入された方からのものは6件、市内在住と記入された方からのものは37件、市外在住と記入された方からのものは2件、記入のないものは1件でございました。

なお、委員の皆様には、お寄せいただいた御意見の内容について、事前に御確認いただいているところでございます。

なお、来室者数及び件数につきましては、来室者カードを御記入いただけなかった方がいたことや、カードに市内在住と記入された方の御意見が保護者としての意見として書かれているものがあることなどから、御報告させていただきました人数及び件数は、あくまで参考となりますので御了承ください。

3点目は、教科書採択に当たり教育委員会に寄せられました要望・意見等についてです。

今回の教科用図書採択について、教育委員会に寄せられました要請等は2件でございます。

1件目は、武蔵村山子どもの教育と文化を育てる会から、令和6年度使用小学校全科教科書採択についての要請を文書で頂戴しております。

こちらにつきましては、4月に開催いたしました令和5年第4回定例会にて御説明をいたしましたので、ここでの御説明は省略いたします。

2件目は、新日本婦人の会から、小学校の教科書の採択に当たり、教員や市民の声を尊重してくださいとして文書で頂戴しております。

こちらにつきましては、6月に開催いたしました令和5年第6回定例会にて御説明をいたしましたので、ここでの御説明は省略いたします。

これらの要望事項については、4月に議決をいただきました教科用図書採択要領に基づき、適正かつ公正に採択を行うことから、特段の対応等の必要はないものと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 ただいま事務局からの説明につきまして、御質問等ございませんでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質問がないようですので、次に資料1、教科書採択資料作成委員会報告書について、同委員会、吉成かおる委員長より説明を求めます。

吉成教科書採択資料作成委員会委員長、お願いします。

○吉成教科書採択資料作成委員会委員長 それでは、資料1、教科書採択資料作成委員会報告

書を基に、国語から順次説明させていただきます。

なお、発行者名につきましては略称にて申し上げます。

まず、国語につきましては、発行者は3社でございます。

初めに、東書の「新編 新しい国語」です。

各単元は「見通す」「取り組む」「振り替える」の3つのステップで学習の見通しが持ちやすくなるよう構成されています。また、各単元で身につける資質・能力が明示してあります。加えて、「とりくむ」「ふりかえる」など、学習の進め方が例示されており、学習を進めやすくなっております。

次に、教出の「小学国語」です。

単元ごとの目標や振り返りが用意されていること、学習過程が構造化されていることから、基礎・基本の定着や活発な言語活動を行うことができます。また、単元扉に「学習のめあて」が明記されており、「ここが大事」の欄には重点指導事項が焦点化されております。

次に、光村の「国語」です。

多彩なジャンルやテーマの文章や作品があり、児童の関心・意欲に沿った学習を進めることができます。「言葉のたから箱」など語彙力を増やすページや、考えを整理したり広げたりするときの方法が掲載されており、思考の整理の仕方が分かるようになっております。

続きまして、書写につきましては、発行者は3社でございます。

初めに、東書の「新編 新しい書写」です。

単元名に指導事項を端的に示すことで、学習のねらいを明確化・焦点化しており、第2学年以上では、学習のポイントを「書写のかぎ」として児童に分かりやすくまとめられております。

次に、教出の「小学書写」です。

発達段階に合わせイラストや図解で分かりやすく丁寧に説明が示されております。また、実際の活動の写真が示されているため、課題解決の具体的な方法が分かるようになっております。

次に、光村の「書写」です。

国語の教科書と連動した教材が設定されています。また、第3学年までは、姿勢や筆記用具の持ち方が定着するよう、動画による「しょしゃ体操」で書くための準備を楽しくすることができるよう工夫されております。

続きまして、社会につきましては、発行者は3社でございます。

初めに、東書の「新編 新しい社会」です。

学習をイメージしやすいよう、インタビュー記事や場に応じた写真が活用できるようになっております。どのような「見方、考え方」を働かせるるとよいか太字で示唆され、児童の学習への期待感を高める工夫がされております。

次に、教出の「小学社会」です。

学習すべき内容がキーワードで明確化されており、児童にとって学習する内容が分かりやすくなっております。また、学習の流れを段階ごとに示し、見通しを持って学習を進めることができるよう工夫されております。

次に、日文の「小学社会」です。

問題解決的な学習の過程と対応した脚注インデックスが設定されており、学習問題を追究・解決する手立てとなる学び方のコーナーが設定されております。一卷構成であり、第6学年の歴史単元の最初には年表を設け、学習問題の広がりを理解しやすい工夫がされております。

続きまして、地図につきましては、発行者は2社でございます。

初めに、東書の「新編 新しい地図帳」です。

日本列島を見渡す地図、地方と都市圏、世界地図と系統的に配列されており、それぞれの地方の特産物などの特徴が絵などで分かりやすく示されております。

次に、帝国の「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」です。

地図帳全体がSDGsを学ぶ題材として活用できるよう、随所にアイコンが設置されており、自然災害や防災についての意識が高められるよう工夫されております。

続きまして、算数につきましては、発行者は6社でございます。

初めに、東書の「新編 新しい算数」です。

各単元の前半は資質・能力の育成を中心とし、中盤以降は吹き出しや補助発問などにより児童が問題解決できるよう工夫されています。また、補充問題はデジタルコンテンツ化され、個に応じて繰り返し取り組めるようになっております。

次に、大日本の「新版たのしい算数」です。

児童の学習意欲を引き出すような「問い」につながるワードが掲載されております。体験的な学習や課題発見・課題選択ができるようになっており、児童自ら解決したくなるような工夫がされております。第1学年の前期は書き込み式となっていて、扱いやすい工夫がされております。

次に、学図の「みんなと学ぶ 小学校算数」です。

単元の導入が全て4コマ漫画になっており、単元の内容を身近な話題として受け止めることができるよう工夫されております。また、グラフの書き方や作図スキルなど、基本技能の説明が丁寧にされており、児童が習得しやすくなっております。

次に、教出の「小学 算数」です。

SDGsなど幅広いテーマの教材を設け、教科横断的に取り組める教材を掲載し、児童の興味・関心を引き出し、探究心を育てる工夫がされております。また、学年を超えて既習事項を振り返ることができる「学びのマップ」を掲載しております。

次に、啓林館の「わくわく算数」です。

1時間の授業単位で学習のめあてとまとめが掲載されており、児童が学習活動を意識しながら取り組めるよう工夫されております。また、毎單元使えるレディネスチェックが設けられており、基礎・基本を定着させることができるようになっております。

次に、日文の「小学算数」です。

発達段階に合わせて遊びや生活との関係性を重視しており、児童の興味・関心を引き出すと同時に、就学前や中学校との連携に合った内容となっております。図を使って表すよさを感じられるように、「よみとろう・あらわそう」という特設ページを設けております。

続きまして、理科につきましては、発行者は5社でございます。

初めに、東書の「新編 新しい理科」です。

導入活動の「レッツトライ」や理解しやすい写真資料が、数多く掲載されていて、児童の興味・関心を引き出せる内容となっております。また、問題解決学習をサポートする様々なコンテンツにより、さらに深められるようになっております。

次に、大日本の「新版たのしい理科」です。

身近にある事象や体験しやすい内容を導入場面に設定し、児童の興味・関心を高められるようになっています。A4サイズで写真が大きく、SDGsを意識し行動できる工夫もあり、理科を学習する有用性を実感できる内容となっております。

次に、学図の「みんなと学ぶ 小学校理科」です。

育成すべき資質・能力を「理科モンスター」として明記し、児童が見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されております。各単元の冒頭では、活動や自然の事物・現象、美しい写真などの提示があり、問題を見つける話合いの場を設けることで、主体的に学習に入れる工夫がされております。

次に、教出の「未来をひらく 小学理科」です。

児童の身の回りの事例から児童の気付きを促し、興味・関心を引き出せるようになっています。「学習のつながり」の欄を設け、既習事項と関連させ、系統的に学習が進められるようになっています。また、キャラクターの発言で考えを対比させて示す工夫がされています。

次に、啓林館の「わくわく理科」です。

各学年の始めに、問題解決の流れを俯瞰できる図やイラストを掲載しています。1年間の生き物の育ち方が「きせつごよみ」として掲載されており、見通しを持って観察を行うことができます。また、「くらしとリンク」では、学習を今後の生活に結びつけられるように工夫されています。

続きまして、生活につきましては、発行者は6社でございます。

初めに、東書の「新編 新しい生活」です。

季節の流れを軸に時系列で単元が構成されていることや、単元のゴールとなる表現・振り返りが具体的に書かれていることで、児童が学習のイメージを持ちやすいようになっています。第1学年の巻頭には、保護者向けに「スタートカリキュラム」の説明があります。

次に、大日本の「新版たのしいせいかつ」です。

自分なりのめあてや振り返りを、マークなどを使って書き込むことができるようになっています。学習に向かう活動の写真が大きく掲載されており、児童の興味を引くとともに、気付きを伝え合う活動を充実させ、協働的な学びへと深めていくことができる構成となっています。

次に、学図の「しょうがっこう せいかつ」です。

活動する中で生じる困り感を話合いで気付かせる場面や、幼児期の経験を話し合う場面が設定されています。また、「ものしりノート」や「ものしり図かん」が単元ごとにあり、学習活動の補助とすることができます。

次に、教出の「せいかつ」です。

各単元の始めに「わくわくすいっち」というアンケートを設けており、単元の動機付けがしやすくなっています。また、学習の流れが分かる「はっけんロード」や、ロードの選択肢が増える「かんがえまとめいろ」のページがあり、様々な意見があることに気付けるようになっています。

次に、光村の「せいかつたんけんたい」です。

児童にとって身近で取り組みやすい学習活動が取り上げられており、児童が対象と繰り返し関わり体験活動が充実するよう配慮されています。また、つまづいたときや試行錯誤するときに大切になる考え方や、活動、表現のバリエーションが分かり、学びを深めることができます。

次に、啓林館の「わくわくせいかつ いきいきせいかつ」です。

単元は、導入、活動、振り返りの3段階で構成されており、それぞれ色分けもされているため、児童にとって学習していることが分かりやすい工夫がされています。栽培関連の単元では、多種の草花について、ページごとに成長段階が載っており、植物の成長が分かりやすくなっております。

続きまして、音楽につきましては、発行者は2社でございます。

初めに、教出の「小学音楽 音楽のおくりもの」です。

各学年の発達段階を考慮し、詳しい解説を読みながらスモールステップで取り組める内容になっております。また、「まなびナビ」が課題発見や課題選択、課題解決の糸口となるように示されており、「音楽を表す言葉」や「リコーダーの運指」等の資料も分かりやすく工夫されております。

次に、教芸の「小学生の音楽」です。

歌唱・器楽の楽曲は、子供の好きな魅力的な曲が多く掲載されており、題材ごとに歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材がバランスよく配置されています。また、各学年の常時活動の例が示してあり、基礎的な技能を段階的に身に付けることができるようになっております。

続きまして、図画工作につきましては、発行者は2社でございます。

初めに、開隆堂出版の「図画工作」です。

身近な材料を使った題材から始まり、段階的に発想や構想を広げていけるよう系統的な題材配列が工夫されております。形や色などの造形要素、表現技法や材料、用具の知識が巻末に「学びの資料」として系統的に分かりやすくまとめられております。

次に、日文の「図画工作」です。

題材ごとに学習のめあてが明確になっており、主体的・対話的で深い学びを実現できる事例や活動の流れが分かりやすく示されております。また、親近感を持つ写真の掲載が多くあり、各学年で扱う道具や製作のポイントについても分かりやすく明記されております。

続きまして、家庭につきましては、発行者は2社でございます。

初めに、東書の「新編 新しい家庭」です。

日常生活から問題を見出し、課題が設定できるように編集されております。また、「プロに聞く」というコラムがあり、児童が学習した内容を生活の中で身近に感じられるように設定され、キャリア教育につながるように工夫されております。

次に、開隆堂出版の「わたしたちの家庭科」です。

日常生活に必要な基礎的な理解を図るために、特別支援教育の視点を取り入れ、野菜の切り方の大きさを実物大で資料に示し、大きさの感覚がつかみやすくなっております。キャリアインタビューの記載が多くあり、消費生活では契約などが参考として挙げられ、中学校や将来につながる構成となっております。

続きまして、保健体育につきましては、発行者は6社でございます。

初めに、東書の「新編 新しい保健」です。

気付きや考えを記入するノート欄が充実しており、答えだけでなく、疑問に思ったことや図などが記入できるようになっております。各項が4つのステップで構成され、問題解決の過程が分かりやすく示されております。

次に、大日本の「新版たのしい保健」です。

ページの左側には「折込カード」があるため、後ろに掲載されている学習を隠しながら「つかもう」の課題に取り組むことができるよう工夫されています。また、活動を行う際にはヒントがあり、自ら学習を広げ、深めることができるようになっております。

次に、大修館の「新 小学校保健」です。

学習は3ステップで構成されており、流れが分かりやすく、学習の振り返りの中に穴埋め問題や「ほけんクイズ」があることで、学習内容の定着が図りやすくなっております。また、SDGsや健康課題として浮上しているテーマを資料として数多く取り上げております。

次に、文教社の「新わたしたちの保健」です。

各単元の始めには、より自分事として捉え、共感できる吹き出しが取り入れられており、学習の動機付けにより学ぶべきことを理解できるようになっています。単元末には、これからの自分の課題を考える記載があり、表現力や判断力を身に付けられるようになっております。

次に、光文の「小学保健」です。

何のために保健を学習するのかをテーマにした読み物を通して、子供たち自身が保健の学習の必要性や意義に気付き、学習を見通せる導入が設定されています。自分の考えを書けるように記入しやすいスペースが確保されております。

次に、学研の「新・みんなの保健」です。

各項目が4つの学習活動で構成され、運動領域や他教科、特別の教科道徳との関連を図り、導入課題では、生活や経験を具体的に振り返る場面も設定されています。また、学習したことを家庭や地域で確かめたり調べたりする「おうちで」や「ちいきで」が随所に設けられています。

続きまして、英語につきましては、発行者は6社でございます。

初めに、東書の「NEW HORIZON Elementary」です。

言語活動を活用して情報を整理し、考えを形成・再構築する学習活動が豊富にあり、互いの考えや気持ちを伝える言語活動としてのコミュニケーションを行う目的・場面・状況が設定されています。また、「CAN-DOの樹」で明確な到達点に向かって学習することができるよう工夫されています。

次に、開隆堂出版の「Junior Sunshine」です。

主体的な学びを実現できるよう、自分の成長や課題を確かめながら学習に取り組む工夫がされています。また、Word Book が別冊になっており、絵を手掛かりに自分の考えや気持ちを伝える言葉を選ぶことができ、言語の理解や練習の学習活動に活用しやすいようになっています。

次に、三省堂の「CROWN Jr.」です。

「道案内」や「買い物」など、実生活に結びつく場面設定が多くあり、目的や場面、状況などに応じて主体的に考え、深い学びへとつながる課題が設定されています。学習の最後には、レッスン全体の振り返りやゴールの達成度、工夫したことなどを記録しておくことができるようになっております。

次に、教出の「ONE WORLD Smiles」です。

レッスンは、映像を見ながら聞くことを通した豊富なインプットから始め、歌やリズムに合わせた口慣らしを通して表現に慣れ親しむこと、学んだ表現を使った簡単なコミュニケーション活動を経て「発表」でアウトプットする構成となっております。

次に、光村の「Here We Go!」です。

アルファベットの読み書きの学習は段階を追って丁寧に提示されていて、教科書本体から取り外し可能な絵辞典がついております。また、各ユニットは7時間で統一され、各単元にチャンツ・歌・絵本教材が設定されていて、学習が意欲的に取り組めるようになっております。

次に、啓林館の「Blue Sky elementary」です。

「REVIEW」で複数の単元で学習した表現を場面や状況を変えて使用できるか確認できるようになっており、思考力、判断力が高められるような内容になっております。また、児童の身近な題材を扱うことで、児童の意欲を高める工夫がされております。

最後に、道徳につきましては、発行者は6社でございます。

初めに、東書の「新編 新しい道徳」です。

全ての学年で問題解決的な学習と役割演技や動作化など、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた教材が掲載されており、多様な指導法を取り入れることができるようになっております。また、「つながる・広がる」という欄では、他教科や自分の生活との関わりが明示されております。

次に、教出の「小学道徳」です。

多面的・多角的に考えられる「問題解決的な学習」に適した教材が掲載されており、イラストや漫画、児童の関心がある人物教材を取り上げたりするなど、工夫されています。また、価値項目を考える観点を示した道徳で学習することが掲載されており、学習を進める手立てとなっております。

次に、光村の「道徳」です。

「考え、議論する」ことを学習の中心に捉え、登場人物への自我関与ができるようになっております。全学年、いじめについて考える「いじめを許さない心」や、SDGsの17項目に6年間で触れることができる教材配置の工夫があります。

次に、日文の「小学道徳」です。

いじめ防止に関わる教材を複数取り扱っており、いじめ防止について集中的に学習できるようになっております。また、各教材の冒頭にはキーワードを明示し、SDGsや情報モラルについてなど、児童が興味を持てるような現代的な課題も取り扱っております。

次に、光文の「小学道徳」です。

「生命の尊厳」「伝統文化」や「先人」「スポーツ」といった多種多様な教材が用意され、児童が自分事として考えやすい話題や生き方に迫ることのできる内容となっております。また、「学びのあしあと」という自己評価シートにより、心の動きや学びを継続して記録することで、自身の成長を実感できる工夫がされております。

次に、学研の「新版 みんなの道徳」です。

道徳的価値を追究する問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材、児童の関心の高い

人物や感染症など身近な話題を取り上げた教材を掲載しております。また、コラム「心のパスポート」が充実していて、授業以外の教育活動に道徳科の学習をつなげることができるようになっております。

以上で、小学校各教科教科書見本の内容説明を終わらせていただきます。

○池谷教育長 吉成委員長、長時間にわたり、ありがとうございました。

では、これから質疑に入りますが、先ほど御説明いたしましたように、質問があれば教科書採択資料作成委員にお答えをいただき、内容をさらに深めていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、国語から順に種目ごとに質疑応答を行いたいと思います。

まず、国語ですが、委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 今回、国語3社のうち、5、6年生が上下巻に分かれているものと、そうではないものがあります。その良し悪しについて、調査研究委員会ではどのようにお考えでしょうか。

○池谷教育長 川口教科書採択資料作成委員会委員、お願いします。

○川口教科書採択資料作成委員会委員 合本になっているものは、児童に1年間の学習の見通しを持たせながら学習活動を進めることができることや、カリキュラム・マネジメントを行いながら、学校や学年の状況に合わせて内容を組み替えて指導を行うことが可能であると考えております。上下分冊のものでも、合本ほどではありませんが、学習期間を見通した学習活動や半期の予習も可能であります。分冊については、合本に比べて軽量であることは、児童の持ち運びの負担軽減につながると思います。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 私からも1点お願いいたします。教科書に載っている物語を読むことで、読書の楽しさを知ってもらうことも大事なことだと思います。そういう観点から、掲載されている作品などについて、話し合われたことがあれば教えてください。

○池谷教育長 川口教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○川口教科書採択資料作成委員会委員 国語の教科書で出会う作品は、今後の豊かな読書経験のきっかけになると考えます。「スイミー」や「一つの花」「モチモチの木」など3社共通教材もありますが、多くの作品は教科書会社によって異なっています。掲載している作品は違

えども、友情、仲間との協力、生命の尊重、平和など、作品のテーマには重なりが見られます。

また、どの教科書も教材の学習の手引ページに同一の作者による他の作品や教材に関連するテーマの書籍などを掲載されており、どの教科書も児童がさらに読み広げる機会を得られるような配慮がなされていると考えております。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。結構でございます。

○池谷教育長 その他の委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に書写に移ります。

書写につきまして、委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 今回、各教科に二次元コードが多数採用されています。書写において、2次元コードの活用の仕方などについて、教科調査部会で何か話題になりましたでしょうか。

○池谷教育長 川口教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○川口教科書採択資料作成委員会委員 二次元コードを活用することで、学年に応じた資料映像や、これから書く文字の書き順やとめ・はね・はらいを視聴することができるほか、一時停止機能を使って、その都度、確認することもできます。また、二次元コードの活用は、これまでに学習した内容などを確かめたりすることもできるという話が上がりました。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に社会に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 社会は3社ですが、教育出版と日本文教出版の2社は、学年ごとに1冊というつくりをしております。一方、東京書籍は、5年生と6年生の教科書のみ、2分冊に分

けております。この違いについて、使い勝手の面などから話題になったことがあれば教えてください。

○池谷教育長 佐々木教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○佐々木教科書採択資料作成委員会委員 社会科は、5年生からは授業時数や授業の中で扱う情報量が多くなります。そのため、現行の教科書と同様に、5、6年生は上下巻に分けることが望ましいのではないかという話題が多数上がりました。内容が整理され、児童にとっては学びやすく、教師側にとっては指導しやすいという意見が多く出ました。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理者、いかがでしょうか。

○大野職務代理者 ありがとうございました。結構です。

○池谷教育長 潮委員、お願いいたします。

○潮委員 災害を扱っている単元におきまして、津波や豪雨災害など比較的新しい被害の様子が写真で掲載されております。こちらについて、調査研究委員会では資料としての使い勝手など、何か話題に上がりましたでしょうか。

○池谷教育長 佐々木教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○佐々木教科書採択資料作成委員会委員 本調査委員会において、災害の様子等の写真が比較的新しい被害の様子が掲載されることにつきましては、大きく話題として取り上げられることはありませんでした。ただし、社会科の学習を進めるに当たり、自然災害時における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫や努力などを児童に考えさせるためには、可能な限り最新の事例が取り上げられることがよいと考えております。

以上です。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に地図に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 地図につきましては、そのルールをしっかりと身に付けることで、はじめて有効に使うことができるものと考えております。その観点から、ルールに関する部分の説明などについて、話題になったことがあれば教えてください。

○池谷教育長 佐々木教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○佐々木教科書採択資料作成委員会委員 現行の学習指導要領では、社会科の地図帳は、社会科の入門期である第3学年から配布されることになっていますので、3年生から使い方のルールをしっかり身に付ける必要があります。本調査委員会でもその点は十分に考慮することとなり、使い方がしっかりと記載されている方が、調べ学習を進めるに当たり、そのページを振り返りながら使用できるようになってよいという意見が多数挙げられました。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。結構でございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に算数に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 今回の算数では、1年生でA4判の分冊になっているものがあります。分冊になっていることについて、何か話し合われたことはあるでしょうか。また、A4判であることのメリットについて、考えられることがあれば教えていただきたいと思います。

○池谷教育長 中村教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 まず、A4判の分冊になっているということですが、算数は毎日持ち帰りをしております。宿題と復習を行っていくことが1年生の算数の特性であると考えますと、毎日持ち帰るということになりますので、分冊になると荷物の軽量化になるのではないかとということが一つ考えられます。

また、教科書がA4判になることで、図や写真が大きくなります。そうすると、ブロックなど具体物を教科書に載せて数えるというようなことがやりやすくなり、学習がしやすくなるのではないかと、それがメリットではないかというような話合いが行われました。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 毎年、全国学力・学習状況調査が行われております。本市の子供たちの課題を考

えたときに、教科書の選出と関係があるかどうかについて何か話題になったことはありますでしょうか。

○池谷教育長 中村教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○中村教科書採択資料作成委員会委員 学力調査ということですが、学力調査に関連した本市の子供たちの課題は、学習内容を理解すること、それからその理解を定着させること、大きくこの2つが主な課題ではないかと考えられます。それらの課題のうち、教科書の選出は、主にその理解に影響を及ぼすものと考えられまして、算数の場合は教科書を用いて学習指導を行っていくわけですが、それを授業の中で教員が直接解説しながら教師主導で展開する授業というのは、現在は行われていないと思われますので、教科書選定をもってのみ大きな影響があるかということは考えにくいのではないかと考えております。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に理科に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 理科の教科書では、教育出版、東京書籍が一回り大きくなっています。理科では、草花や昆虫、実験の様子など掲載されている写真が大きい方が見やすいと思いますが、実際の授業を行う上で、使い勝手についてどのような話題が出たのかお聞きしたいと思います。

○池谷教育長 井内教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○井内教科書採択資料作成委員会委員 調査研究委員会では、やはり写真、図が大きいことは、児童にとって分かりやすいという意見が多くありました。大きいことで使いやすいかどうかという観点では、大きいから重い、持ち運びが大変である、机の上のスペースが少なくなるということも考えられますが、このような意見は調査研究委員会の中ではございませんでした。したがって、授業で見やすいものは使いやすいという考えです。

以上でございます。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございました。

○池谷教育長 大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 連日、異常とも思える暑さが続いておりますけれども、異常気象や地球温暖化に関することは、まさに理科の範疇に属するものと思います。これに関する記載内容について、話題になったことがあれば教えてください。

○池谷教育長 井内教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○井内教科書採択資料作成委員会委員 確かに地球温暖化を取り扱っている単元の内容、またSDGsについての話題は出ました。環境問題については現代の課題ですので、このことを授業できちんと触れる必要があるとの話題はありました。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。結構です。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に生活に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 生活は、各社とも最初のところで学校に通い始めた子供たちが安全に通学し生活できるように、守らなければいけないルールや注意すべきことを説明していますが、記載内容には若干の違いが見られるようです。子供たちを指導する上でどういう内容のものがよいのかなど、話し合われたことがあれば教えてください。

○池谷教育長 佐々木教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○佐々木教科書採択資料作成委員会委員 子供たちを指導する上で、まず学習のめあてと振り返りがあることが大切であるという話が多く上がりました。1年生であっても、1年生なりの学習のめあてを持って取り組み、それに対する振り返りをするすることで、児童がその時間に何を学んだのか、あるいはまだ何が課題なのか、自分で見詰め直すことで確かな学びにつなげていくことが重要であると考えています。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。結構でございます。

○池谷教育長 潮委員、お願いいたします。

○潮委員 1、2年生にとりまして、教科書に身近に感じられる写真やイラストの掲載があることについて、児童の興味や理解への効果が大きいと考えますが、話題に上がったことはありますでしょうか。

○池谷教育長 佐々木教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○佐々木教科書採択資料作成委員会委員 まずは、学習に向かうための興味や関心を引き出すことができる写真が掲載されているかが大切であるという話題が多く上がりました。また、活動の様子や取り上げる内容によって、写真の方が学びの効果が期待できることと、イラストの方が伝えやすい内容と使い分けが工夫されていることが重要であるということが話題に多く上がりました。

以上です。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 結構でございます。ありがとうございました。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に音楽に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 音楽は、子供たちの発達に応じた内容というのが大切だと考えております。低学年は担任の先生に、また、その他の学年は専科の先生に御指導いただくことが多いかと思えます。教材の取扱いについては、何か議論がありましたでしょうか。お願いいたします。

○池谷教育長 高瀬教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○高瀬教科書採択資料作成委員会委員 調査委員会では、教材の取扱いについて、特に低学年の指導については学級担任による指導が多いため、学習の進め方が分かりやすく記載されているかどうかについてや、歌唱や器楽等の楽曲が魅力的で親しみやすいものであるかについても話題に上がりました。

また、児童が気持ちや体をほぐして授業に入ることができるような常時活動というものを取り入れることが低学年の指導には特に有効であるため、これらの内容がどのように掲載されているかということについて話題がありました。

以上です。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございました。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ここで暫時休憩いたします。

次は、10 時 45 分に再開いたします。

午前 10 時 30 分休憩

午前 10 時 45 分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

日程第 2、議案第 44 号の議事を継続いたします。

それでは、次に図画工作に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 図画工作について、展覧会などで児童の作品は個人製作だけではなく共同製作も印象に残っているところであります。その共同製作の取扱いについては、何か話題になったことはあるでしょうか。

○池谷教育長 押本教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○押本教科書採択資料作成委員会委員 図画工作は、基本的には学級担任ではなく、専門的な知識・技能を有する教員が指導に当たります。そのため、日頃の授業もそうですが、特に図工専科の指導力の見せどころでもある展覧会の作品製作には、自分の感性や積み重ねてきた経験や他校で行われた実践からの情報等により取り組むことが多いです。どちらかといえば、教科書の掲載作品は、展覧会の個人製作、共同製作のテーマを考える教員の参考にはなり得ますが、個人製作、共同製作に限った視点からの話題は特にありませんでした。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 図工の作品ですが、子供によっては作りたい作品のイメージが発想しにくく、取組に時間がかかる子もいるかと思います。そのような場合、教科書に参考となる作品例の量が多い方がよいのかどうか話題が出ましたでしょうか。

○池谷教育長 押本教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○押本教科書採択資料作成委員会委員 2 社とも作品例は多く掲載されており、開隆堂出版の

方がバラエティーに富んでいるように感じるとの意見はありました。量的なことについては、特に話題にはなりませんでした。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございました。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に家庭科に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 家庭では、家族の触れ合いや団らん、そして地域とのつながりについても学びます。豊かな社会をつくる上で大事なことだと思いますけれども、この部分の記載内容について、話し合われたことがあれば教えてください。

○池谷教育長 井口教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○井口教科書採択資料作成委員会委員 生活時間を考える中で、家庭での家族の触れ合いや団らんの時間を取るための工夫として具体的な例が示されているものや、家族だけでなく地域の人との関わりを持つための計画を立て、実践することが示されております。家庭科の中では、調理や裁縫といった技術だけでなく、自分自身が家庭の一員である自覚を持たせることの重要性について改めて確認したところです。

また、地域との共生をより意識させる学習を扱うほか、キャリアインタビューが多く記載されていることで、その単元に関わる仕事を知り、地域でもそのような仕事があるのかなど、児童の興味が広がるのではないかと話題に上がりました。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございました。結構です。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に保健体育に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 保健では、病気の予防についても学ぶと思いますが、感染症の予防の中で各社

とも新型コロナウイルス感染症について触れております。各社を比較して、記載内容などに相違点や特徴などがあれば教えてください。

○池谷教育長 川口教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○川口教科書採択資料作成委員会委員 記載内容に大きな相違点はありませんでした。感染防止のために、いわゆる３密を避けることは、デジタルコンテンツや写真などで理解を深められるようになっていきます。特徴的なものとしては、大修館が新しい感染症が現れると不安をあおるデマやうわさが広がることに触れ、正しい情報かどうか判断する３つのポイントを示していると記載していること、大日本図書が感染症によって暮らしが変化したと記載しておりました。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 ありがとうございます。結構です。

○池谷教育長 潮委員、お願いいたします。

○潮委員 飛沫の飛び方など授業では行えない実験などを取り扱った単元が見られましたが、その際に二次元コード、デジタルコンテンツが大きな役割を果たしているように思います。この活用の仕方などで何か話し合われたことがあれば教えてください。

○池谷教育長 川口教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○川口教科書採択資料作成委員会委員 これまでもＩＣＴを活用して写真を拡大するほか、映像で飛沫の飛び方などの実験を見せるなどしていました。今回のデジタルコンテンツは、ふだん見られないものだけでなく、手の洗い方など日常生活につながる見本等を示してあり、授業後も生活指導などで繰り返し見せ合うことができるため、学習を進めていく上でも、その後の指導においてもとても有効であるという意見がありました。

以上です。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 結構です。ありがとうございました。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、次に英語に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 英語の指導を行うに当たりまして、読む、聞く、書くということが重要であると考えますが、デジタルコンテンツの取扱いも含め、学校での使い方や各社の違いがあれば教えてください。

○池谷教育長 吉成教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○吉成教科書採択資料作成委員会委員長 英語の授業におきましては、現在、デジタル教科書を有効に活用しています。動画や音声が充実しており、扱われる動画の人物や写真と音声がリンクすることで、児童の学びに大変役に立っております。

御質問の件ですが、どの教科書も二次元コードから多くのデジタルコンテンツにアクセスできるようになっております。各単元で扱われている動画の長さや量、繰り返し発音されるなどの工夫は各社違いがありますが、いずれにしても、個別の学習状況や興味・関心に応じて学習をサポートできるようになっております。

以上でございます。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。結構です。

○池谷教育長 杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 英語は6社ですが、教科書に関連する単語を掲載した単語帳を別冊で付けているのが3社、その他3社は教科書の末尾の方に掲載しております。学習を進めるに当たりどちらが使いやすいかなど話題になりましたでしょうか。

○池谷教育長 吉成教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○吉成教科書採択資料作成委員会委員長 どちらであっても有効に使うことができるという話が出ました。別冊の場合は、教科書と照らし合わせながら使えるという利点があります。教科書の巻末についている場合は、単語帳を忘れてしまうほか、失くして見るできないということは決してありません。

また、小学校段階で身に付けるべき単語は多くありますが、中学校のように一つの単語について複数の意味を持つことや、場面における使い分けなどを調べるということはありませんので、別冊でも巻末でも有効に使えると考えております。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 それでは、次に道徳に移ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 道徳については、各社とも子供たちに考え、話し合ってもらうことを前提に多様な題材を掲載しております。採用されている題材が教科書の命でもあると、そのように思いますが、各社を比較するような形で議論されたことがあれば教えてください。

○池谷教育長 吉成教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○吉成教科書採択資料作成委員会委員長 道徳では、教材そのものを教えるわけではなく、その教材に含まれる道徳的な価値について、子供たちに考えさせていきます。どの教材であっても、指導者が明確な指導観を持っていれば対応できると考えております。

また、どの教科書も普遍的なものやいじめ防止、SDGsなど、現代的な課題など様々な観点からの教材を取り入れており、大変充実しています。面白いと思った題材があるからこの社がよいという意見はございませんでした。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理者、いかがでしょうか。

○大野職務代理者 ありがとうございます。結構です。

○池谷教育長 比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 道徳では、これまでもワークシートを活用するほか、専用のノートを購入するなど学習している様子がうかがえます。1社別冊ノートを採用しているところがございすが、学校における使い勝手について教えていただきたいと思います。

○池谷教育長 吉成教科書採択資料作成委員会委員、お願いいたします。

○吉成教科書採択資料作成委員会委員長 道徳では、授業中に考えたことや振り返りをノートに書くことは、自分の価値観や考え方を整理するなど、自身の成長を振り返るために大変有効です。その際、教師側の指導の意図によって子供に書かせる内容が決まってきます。別冊のノートをそのまま活用できる場合もあれば、教師が自分で作成したワークシートを使う場合もあります。ワークシートについては、バインダーなどに綴り振り返りができるようにして、保護者に確認してもらいます。教材研究を通して、子供に何を書かせたいかを考え、様々な実践をしていますので、ノートがよい、ワークシートがよいということはございません。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 ありがとうございます。結構です。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 これにて質疑を終了いたします。

ここで説明していただきました教科書採択資料作成委員会委員の校長先生方には退室していただきたいと思います。長時間ありがとうございました。

(教科書採択資料作成委員会委員 退室)

○池谷教育長 では、日程第2、議案第44号の議事を継続いたします。

それでは、ここからは採択するにふさわしいと考える教科書につきまして、種目ごとに協議を行います。

まずは、国語です。国語は3社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 各社とも学習の読みを深めるという視点に立って様々な工夫がされていると思いました。

その中で、光村図書出版は「国語の学びを見わたそう」があり、前の学年で学んだ具体的なポイントが示されていて、何を学習するのかが明確で分かりやすいと思いました。また、説明文や物語文の要旨の捉え方など、ポイントが具体的に示されていました。例えば、考えを述べた文章では、文章の始めと終わりに両方の考えを繰り返して述べていることが多いなど、要点が分かりやすくまとめられていました。

東京書籍と教育出版は、「大造じいさんとガン」を読み深めるに当たって、場面、方法、心情などを表にまとめる方法を具体的に示されているので、学び方を学べるのがよいと思いました。

「新聞を読もう」では、光村図書出版は新聞の構成やポイントが分かりやすくまとめられていて、要旨が捉えやすいと感じました。

全体的に見て、光村図書出版がよいと思いました。

○池谷教育長 杉原委員は光村図書出版と御意見がありました。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私は東京書籍がよいと考えます。1年生の初めは、手遊びやリズムから構成されておりまして、急に音読というよりも学習に入りやすく、幼保との接続という点で工夫されていると感じたところでございます。また、2年生からは「言葉の相談室」というページが設けられており、言葉の使い方を大変分かりやすく説明してありました。本市の児童の課題となる部分だと感じておりますので、このような取扱いは非常によいと思いました。

以上です。

○池谷教育長 潮委員からは東京書籍と御意見がありました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 国語に限ったことではありませんが、各社学習の狙いや振り返りなど、とても工夫されていると思います。その中で大きな差はないと感じて非常に判断に迷っているところではあります。

その中で、国語は音読や漢字の練習など、日々家庭でも教科書に触れることが多くあると思いますが、教育出版は5、6年生で上下巻に分かれておりまして、日々教科書を持ち帰る児童の負担軽減になると思います。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員からは教育出版と御意見がありました。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 今回、各社の教科書を見させていただきまして、どの教科書も国語を学ぶ上で大切なことを理解してもらうべく工夫しているのが見てとれました。改めて国語を学習することの必要性を感じたところでございます。

その中で、光村図書出版の教科書ですが、俳句や短歌、そして古典など大変バラエティーに富んだ作品を載せておりまして、様々な角度から国語の学習ができるのではないかと感じたところです。私としては、光村図書出版がよろしいと思います。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理者からは光村図書出版と御意見がありました。

杉原委員と大野職務代理者は光村図書出版、潮委員は東京書籍、比留間委員は教育出版との御意見をいただきました。2名が光村図書出版ということですが、潮委員、比留間委員、光村図書出版ということでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、書写です。書写は3社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 各社とも動画で筆遣いを確認することができまして、お正月の書き初めのときには、児童が家庭で確認できるのではないかと思います。

中でも光村図書出版は、文字の形について図形を使いながら工夫して示されておりました。

見やすく分かりやすいと思ひまして、光村図書出版がよいと思ひます。

○池谷教育長 潮委員からは光村図書出版と御意見がありました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 どの教科書も準備から片づけ、姿勢、筆記具の持ち方など、丁寧に示されていると思ひました。

漢字の組立てについては、光村図書出版は幅だけでなく位置、大きさ、左右、上下についても触れていて、文字の組立てについて原理原則を押さえて指導ができると感じました。また、光村図書出版は、書写ブックで横書きの書き方、原稿用紙の使い方、手紙の書き方、新聞の書き出しの工夫など、ポイントが分かりやすく述べられていました。

総合的に見て、光村図書出版がよいと思ひました。

○池谷教育長 杉原委員からは光村図書出版と御意見がありました。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 どの教科書も正しい姿勢や筆の持ち方など、丁寧に分かりやすい説明がされておりまして、1社に絞るのは大変難しいと感じました。一方で、書写も国語の一部と考えますと、国語と同じものを採用するのがよいのではないかとこの考えから、私としては光村図書出版がよろしいと考えております。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理者からは光村図書出版と御意見がありました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 まず、1年生の鉛筆の持ち方について、教育出版、東京書籍は右手と左手両方の持ち方が掲載されており、配慮を感じました。光村図書出版についても、二次元コードで両パターンを備えておりました。どれも分かりやすいのですが、大野職務代理者がおっしゃったように、国語の教科書との共通性というところを考慮すべきと思ひ、光村図書出版がよいのではないかと思います。

○池谷教育長 比留間委員からも光村図書出版と御意見がありました。

4名の委員の皆様から、書写につきましては光村図書出版と挙げていただきましたので、書写は光村図書出版ということでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、社会です。社会は3社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 東京書籍の6年生の教科書ですが、政治・国際編と歴史編の2分冊で作られています。この2つの分冊を同時に関連させながら使用することで、社会の仕組みや制度、これを歴史の流れの中で捉えるような学習も可能になるのではないかと思います。そのように使われることを期待いたしまして、私としては東京書籍がよろしいと思います。

○池谷教育長 大野職務代理人からは東京書籍と御意見がありました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 写真や挿絵、記載されている内容につきまして、それぞれ工夫されており、甲乙つけ難いと感じます。3年生から始まる教科ということで見ますと、最初の単元として、東京書籍は福岡市、日本文教出版は姫路市、教育出版が川崎市と横浜市を掲載しております。本市の児童にとって、なるべく身近な土地が題材となっている方が、親近感があって学びへのイメージが湧きやすいのではないかと、また4年生の教科書についても、東京や神奈川など近い地域の題材が多く見られることもあり、教育出版がよろしいかと思います。

○池谷教育長 比留間委員からは教育出版と御意見がありました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 どの教科書も課題が明確で、問題、調べる、まとめるなど学習に取り組みやすい工夫がされていると思いました。

歴史編では、各社とも年表が各単元・時代の初めに表示されて工夫されていました。東京書籍と教育出版は右端縦に、日本文教出版は左端縦に、どちらかといえば右端にある方が検索しやすいように感じました。

森の働きについては、東京書籍と日本文教出版は、人々の生活の立場だけでなく、森に住む生き物のすみかについてもまとめに明記されていました。森林の関わりで、東京書籍の「まとめるワークシート」はとても分かりやすいと感じました。

総合的に見て、私も東京書籍がよいと思います。

○池谷教育長 杉原委員からは東京書籍と御意見がありました。

潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 私は教育出版がよろしいかと思います。３年生の働く人を取り上げた学習では、工場と農家の学習が選択となっておりますけれども、農家の人の仕事といたしまして、小松菜を取り扱っていました。本市も畑が広がっていることが特色でありまして、農家の方の仕事というのは大変身近であると考え、本市と違う地域であっても興味を引きやすいのではないかと思います。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理、杉原委員は東京書籍、比留間委員と潮委員は教育出版ということで、私の意見を入れさせていただき、決定させていただくということで、よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 私はまず結論から言いますと、東京書籍がよいと考えました。それは先ほど大野職務代理者がおっしゃったように、６年生の教科書が分かれている点がよく、政治と歴史を関連させることができることが利点になるのではないかと考えました。そして、年間指導計画を学校行事等に絡めながら工夫して計画することもできるのではないかとということで、児童の理解も高まっていくのではないかと考えました。そのような活用も取り入れてほしいと考えまして、東京書籍を選ばせていただきたいと思います。

東京書籍が私を含めて３名ということですが、比留間委員、潮委員、東京書籍ということでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、地図です。地図は２社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 ２つの地図を見比べまして、どちらも統計表の資料が豊富で、一つの読み物としても楽しめるものになっていると感じたところでございます。その中で、どちらかを選ぶというのは大変難しいところですが、帝国書院は、前段の地図の使い方などの説明により多くのページを割いておりまして、子供たちにとっても学習しやすいのではないかと思います。帝国書院がよろしいかと思います。

○池谷教育長 大野職務代理からは帝国書院と御意見がありました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 私も２つの地図を見比べましたところ、色のコントラストなど帝国書院の方が見やすいと感じました。３年生から４年間継続して使うに当たって、それぞれの学年で活用できる資料が充実しており、特にＳＤＧｓの記載につきましては、関連が分かりやすくてよいと思いました。

以上です。

○池谷教育長 比留間委員からも帝国書院と御意見がありました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 両社とも構成が似ていて、学習を楽しめる工夫がされていると思いました。初めのページに、東京書籍は「地図のぼうげんに出発！ＷＯＲＬＤ ＭＡＰ」、帝国書院は「地図で世界探検」がありました。よく見ると、東京書籍の方は、インド、アフリカ、南アメリカが細長く、図法の違いだろうと思いました。帝国書院の方は、見慣れたメルカトル図法で縮尺 7,500 万分の 1、ただし赤道上の長さとも縮尺も正確に表示されていました。

東京都のページでは、両社とも武蔵村山市がはっきり見えましたが、帝国書院の方は村山貯水池の形も明確に記載されており、子供たちにとって理解しやすいだろうと思いました。また、帝国書院の東京都とその周りでは、自分たちが住んでいる武蔵村山市の特色や位置を中心に周りの状況が学べるよさがあるように感じました。

世界と地球儀では、東京書籍は緯度・経度が球体の断面図で表されていて、分かりやすいと思いました。帝国書院は地球儀の特徴を分かりやすく説明しているほか、世界の陸地の面積、海洋の割合と面積も表示されていて、全体から捉えられて理解が深まると感じました。

また、日本の自然災害について、東京書籍は事実を分かりやすく写真を掲載して理解しやすいと感じました。帝国書院は防災の視点からの取組も詳しく説明されていて、未来に向けて学べると感じました。

総合的に見て、帝国書院が本市の子供たちにはよいと思いました。

○池谷教育長 杉原委員からも帝国書院と御意見がありました。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私も帝国書院がよいと思います。どちらも地形の色合いについては大変工夫されていますけれども、先ほど比留間委員からもございましたが、私も帝国書院は濃淡のつけ方が非常に見やすく感じました。また、杉原委員がおっしゃったように、本市を見たときに村山大島紬について掲載されているということも、児童が興味を持って見てくれるのではないかと考えます。

以上です。

○池谷教育長 4名の委員の皆様から、地図につきましては帝国書院と挙げていただきましたので、地図は帝国書院ということによろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、算数です。算数は6社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 どの教科書も大変工夫されていましたが、例えば文字を使った式では、一番分かりやすく展開されているのは東京書籍だと思いました。子供たちにとって文字を式に表すというのは新しい概念ですから、分かりやすく原理原則にたどり着きやすいのがいいと思います。他社で導入に不思議を発見する問題などありましたが、算数の好きな子供は夢になるとは思いますが、算数の不得手な子供たちは、文字を使うことのよさにたどり着くまでのハードルが高いように感じました。

どの教科書も補充問題が「プラス・ワン」「もっと練習」「しっかりチェック」「ステップアップ算数」など、名前は違ってもよく工夫されていました。

東京書籍は、学んでいるページに補充のページが示され、補充の問題のところには答えのページが示され、すぐに確かめられるよさがあると感じました。

分数の学習は子供たちが大変つまずきやすいところですが、各社とも関係を数直線で捉える、数の置き換えで考える、分数をマス図や小数で数量として捉えるなど、多様な視点で解決できるように工夫されていましたが、東京書籍はすっきりと見やすいように思いました。東京書籍がよろしいのではないかと思います。

○池谷教育長 杉原委員からは東京書籍と御意見がありました。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 6社の教科書を見比べまして、私としては、東京書籍と教育出版のものが説明に使われている図や表なども含めまして大変見やすいつくりになっていると感じたところでございます。

また、東京書籍は、1年生で最初に使う分冊を大きなA4サイズにしておりますが、これは小学校の学習にスムーズに移行できるようにとの配慮ではないかと思っております。総合的に考えまして、東京書籍がよろしいと思います。

○池谷教育長 大野職務代理者からも東京書籍と御意見がありました。

比留間委員、お願いいたします。

○**比留間委員** 先ほど教科書の大きさについて質問をさせていただきましたが、1年生はやはり大きいほうが見やすく、学習がしやすいなど、扱いがよいことも理解できました。本市の子供たちの学習について考えてみますと、やはり小学校1年生のうちから学校で習ったことを家庭でも復習し、学力の定着を確実にしてほしいと思っております。日々教科書の持ち帰りを考えますと、1年生には負担の少ない分冊がよいと思っております。

その中で、各教科書を比較してみますと、日本文教出版は、学習を確実にするため、単元ごとに間違いやすい問題や振り返りの問題があり、さらには、次の学習のための以前の振り返りというところで反復学習ができて、基礎・基本の定着につながると思います。

また、1年生から6年生までの教科書を並べてみますと、1つの町が描かれております。これは非常に面白いと思いました。なかなか全ての教科書を並べるという機会は少ないのですが、遊びの中にも学びありと申しましょうか、教科書をつくる上で、その発想は素晴らしいと感じました。

以上です。

○**池谷教育長** 比留間委員からは日本文教出版と御意見がありました。

潮委員はいかがでしょうか。

○**潮委員** 私は教育出版がよいと思いました。1年生の時計の学習では、時計を大きく載せてありまして、見やすさ、書き込みやすさというのを感じました。また、5年生の分数の計算につきましては、教育出版の説明がとても分かりやすく感じたところでございます。

以上です。

○**池谷教育長** 潮委員からは教育出版と御意見がありました。

杉原委員、大野職務代理からは東京書籍、比留間委員からは日本文教出版、潮委員からは教育出版との御意見をいただきました。2名が東京書籍ということですが、比留間委員、潮委員、東京書籍ということでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○**池谷教育長** 続きまして、理科です。理科は5社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間委員、お願いいたします。

○**比留間委員** 私は、大日本図書か東京書籍がよいと思います。

まず、大日本図書について、他の教科書にも同様の事例は見られますが、教科書の初めに

ある「理科の学び方」というところで学習のプロセスが明確に記されておりまして、そのプロセスに沿って学習が進められるように構成されており、さらに振り返りの学習ができる仕組みも整っております。この点が非常に優れていると感じました。

次に、理科は様々な動植物の観察、実験など多くの写真やイラストが必要かつ大事に思っております。その中で東京書籍はそれらが見やすいと感じましたので、この2社を挙げさせていただきます。

○池谷教育長 比留間委員からは東京書籍又は大日本図書と御意見がありました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 どの教科書も問題、予想、計画、実験、考察、まとめなど手順が大変明確で、問題解決に取り組みやすい魅力あるつくりになっていると感じました。

ものの燃え方と空気の実験は、比較して東京書籍と啓林館は変化を捉えやすく、理解しやすいと感じました。東京書籍の酸素のない宇宙でもロケットが進むのはなぜという問いに動画で説明され、大変分かりやすくすばらしいと感じました。また、「ふり返ろう」「たしかめよう」の要点がすっきりと分かりやすくまとめられていました。

3年生の植物の育ち方では、東京書籍はハウセンカ、ヒマワリ、ピーマン、オクラの成長の変化が写真により捉えられやすく表示されていきました。全体が構造的に把握されると、細かい部分を見たとき、理解の解像度は高まると思います。そういう点から、東京書籍はよいと感じました。蝶の観察でも、東京書籍はモンシロチョウ、アゲハの成長の様子が分かりやすく、右へ見ていくと変化が捉えやすいと感じました。

大日本図書は、芽から子葉、子葉から本葉と、ページは違いますが植物の成長の変化が捉えられて、流れが子供の視点や活動に合っていてよいと感じました。

学校図書は、身近な外来生物の説明とデジタルコンテンツで資料のリンクがあり、参考になると感じました。

総合的に見て、東京書籍又は大日本図書がよいのではないかと思います。

○池谷教育長 杉原委員からも東京書籍又は大日本図書と御意見がありました。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 どの教科書も、理科の楽しさ、面白さを伝えたいという思いが感じられました。その中で、東京書籍と大日本図書はA4判と大きいサイズで、写真や実験の様子が分かりやすいと感じました。

また、先ほど異常気象や地球温暖化に関する記載内容についての質問をいたしましたけれ

ども、大日本図書6年の「ものの燃え方」では、燃やすことは生活に欠かせないことですが、環境破壊にもつながるということにより多くのスペースを割いております。気候変動などの環境問題について子供たちにしっかりと考えてもらいたいという思いを込めまして、大日本図書がよろしいかと思えます。

○池谷教育長 大野職務代理者からは大日本図書と御意見がありました。

潮委員はいかがでしょう。

○潮委員 5社どちらの教科書にも、身近なことを題材にして学習に結び付けていると感じました。その中で、大日本図書は単元の最後に「学んだことを生かそう」というページを設けておりまして、学んだことが実生活にどのように役立つかということを確認することができます。学習していることが私たちの生活に結び付いているということが押さえられていると感じましたので、私も大日本図書がよいと思えます。

○池谷教育長 潮委員からも大日本図書と御意見がありました。

杉原委員、比留間委員からは東京書籍もよいのではないかと御意見をいただきましたが、4名の委員の皆様から大日本図書と挙げていただきましたので、理科につきましては大日本図書ということによろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、生活です。生活は6社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 どの教科書も安全に配慮して学べる工夫がされていると感じました。「ぐんぐんそだてわたしの野さい」で、野菜の成長を理解するために東京書籍と教育出版は、種、苗、花、実になっていく変化がページを開くと同じ場所に表示されていて、ページをずらすと成長の変化が理解しやすく、子供の興味を引くと思いました。

動くおもちゃでは、東京書籍と教育出版は分かりやすく写真で表示され、試行錯誤や失敗から学ぶ様子も取り上げられて、様々に工夫することや、何回も試していくことの大切さも分かるのでよいと思いました。

東京書籍か教育出版がよいと思えます。

○池谷教育長 杉原委員からは東京書籍又は教育出版と御意見がありました。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私は大日本図書がよいと思えます。ただいま杉原委員から観察のお話が出ましたけ

れども、私は逆の意見になるかと思います。観察の場面で、どの教科書も朝顔の種を植えた後はどのように変化するのかということを一連の流れで掲載されておりましたが、大日本図書は季節ごとの進行で掲載されておりまして、秋には花がどうなったのかなどと児童の興味を引き出してくれるのではないかと感じたところでございます。したがって、大日本図書がよいと思います。

○池谷教育長 潮委員からは大日本図書と御意見がありました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 生活については、3年生の理科、社会につながる教科であり、やってみたい、調べてみたいという気持ちをしっかり育てることが必要だと思います。そのような視点で比較してみましたが、どれも子供たちの興味を引く、また意欲が湧くような内容になっていると思います。なかなか甲乙つけ難いところではございますが、1社を選ぶとすると大日本図書がよいと思いました。大日本図書の探究のプロセスは、子供たちの問題解決への意欲を育てるために非常に分かりやすいと感じたところでございます。

○池谷教育長 比留間委員からも大日本図書と御意見がありました。

大野職務代理者、いかがでしょうか。

○大野職務代理者 私も大日本図書がよろしいのではないかと考えております。1年生が学校に通い出して第一に必要なことは、交通安全や防犯に関することをしっかりと身に付けることだと思います。この観点から教科書を見ましたときに、大日本図書は用語などが具体的に分かりやすく、また、A4判と大きいサイズを採用していることから、大変見やすいつくりになっていると思ったところでございます。

以上でございます。

○池谷教育長 大野職務代理からも大日本図書と御意見がありました。

杉原委員からは東京書籍又は教育出版という御意見をいただきましたが、3名の委員の皆様から大日本図書と挙げていただきましたので、杉原委員、生活につきましては大日本図書ということでよろしいでしょうか。

○杉原委員 結構です。

○池谷教育長 ここで暫時休憩といたします。

次は午後1時から再開いたします。

午前中ありがとうございました。

午前11時41分休憩

午後 1 時 0 0 分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

日程第 2、議案第 44 号の議事を継続いたします。

続きまして、音楽です。音楽は 2 社でございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 両社とも楽しく学べる工夫がされているということで、大変迷いました。

6 年生の学習マップでは、教育出版は「短調のひびき」「アンサンブルのみりょく」「せん律のひびき合い」など、音楽を学ぶという印象がよい感じを持ちました。教育芸術社は「歌う」「演奏する」「つくる」「聴く」という 4 つの視点で書かれていて、「歌う」については、全体の響きを感じ取って合唱する、曲の特徴にふさわしい表現で歌うとされ、「聴く」については、曲風を味わって聴く、世界の国々の音楽を聴くなど、子供にも表現が分かりやすく、音楽をつくり上げていくという印象を持ちました。

1 年生の学習マップでも、教育芸術社の方が表現が易しく、子供の心に響きやすいように思いました。

リコーダーの運指表は、教育出版は音譜のみで、左に描かれている笛と見比べながら指使いを確かめる必要がありますが、教育芸術社は音符と階名が書かれていて、指使いも笛ごとに表示されていて、子供たちが取り組みやすいように感じました。

そのような理由から、教育芸術社がよいと思います。

○池谷教育長 杉原委員からは教育芸術社と御意見がありました。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 私も杉原委員と同じく教育芸術社がよいと思っております。教育芸術社は、全ての学年の最後のページに「君が代」を掲載しております。学ぶ側、教える側、双方にとって使いやすく、ここを開ければ掲載してあるという安心感があると思います。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理者からも教育芸術社と御意見がありました

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 私も教育芸術社がよいと思います。まず豊かな教材が掲載されていることが重要だと思いますが、音楽はまず聞いて感じることも重要だと思います。その点で教育芸術社は、二次元コードで聞くことができる音源や楽器の音など、非常に多くてよいと思いました。

○池谷教育長 比留間委員からも教育芸術社と御意見がありました。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 2社それぞれ特徴があったと思います。教育出版につきましては、写真から演奏の様子などがよく分かり、ハーモニカの指の送り方や鍵盤の位置は見やすく、児童にとって分かりやすいと思いましたが、音楽を学ぶ上で、楽譜の読み方や速度記号についても押さえるべきポイントであると考えます。教育芸術社は、速度記号に関しまして、幾つから幾つと数字で表記しており、強弱につきましてもしっかりと書かれてありました。曲調に関しましても明るく、しっかりなどと明確に示されており、大事なポイントを押さえていると思ひまして、私も教育芸術社がよいと思います。

○池谷教育長 潮委員からも教育芸術社と御意見がありました。

4名の委員の皆様から、教育芸術社と挙げていただきましたので、音楽につきましては教育芸術社ということでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、図画工作です。図画工作は2社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理人、お願いいたします。

○大野職務代理人 どちらも図画工作の楽しさを伝えようとしていることが感じられまして、よい教科書だと思いました。また、二次元コードを読み取ることでより分かりやすい資料を見ることができますが、特に用具の使い方については大いに参考になるのではないかと思います。さらに、どちらも右下や左下の定位置に二次元コードを配置しておりまして、学ぶ側への配慮もございます。

1つに絞り込めておりませんので、皆様の考えをお聞かせいただければと思っております。

○池谷教育長 杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 私も大野職務代理人と同じように、どちらの教科書も楽しんで表現するように工夫されていて、安全にも配慮が行き届いていると感じました。

まず、学習のめあてを見ると、開隆堂出版は「くふうさん」「ひらめきさん」「ころさん」の3つの視点から発想が広げられる工夫がされていて、図画工作の苦手な子供たちも親しみながら取り組めるのではないかと思います。

また、開隆堂出版は「紙が奏でる形と色のハーモニー」では、この3つの視点で切り方や組合せ方を工夫することや、めあて、手順、視点が分かりやすく、子供にとって取り組みや

すいように思いました。

「進め！糸のこたん検隊」や「糸のこスイスイ」では、両社とも安全に配慮して電動糸のこぎりの安全な使い方が教科書の後ろの資料と二次元コードによる動画で学べるようになっていましたが、どちらかといえば開隆堂出版の方が分かりやすいと思いました。

どちらかといえば、開隆堂出版がよいように思いました。

○池谷教育長 杉原委員からは開隆堂出版と御意見がありました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 掲載されている作品や学習の流れなどは、どちらもよいと思いました。その中でも日本文教出版につきましては、二次元コードで見ることのできる児童の作品が豊富であり、かつ、その他の情報量も多くてよいと思いました。

また、指導内容とは少し離れますが、日本文教出版のほうはマスクをしている子供たちが多く掲載されていると感じたところであり、近年の教育現場で撮影されたものであれば、当然かつ仕方のないことだとは思いますが、作品づくりの楽しさや子供たちの生き生きとした表情に非常にリアリティーがあつてよいと思いました。

○池谷教育長 比留間委員からは日本文教出版と御意見がありました。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 どちらの教科書にも片付けや振り返りの記載が丁寧に書かれていたと思います。

単元の初めのめあての記載は、開隆堂出版が児童にとっては分かりやすいと感じました。また、作品づくりのイメージは、単元初めの作品例も大切だと考えます。それを見比べたときに、これを作ってみたい、これなら作れそうだなと感じるのは、開隆堂出版だと思いました。

○池谷教育長 大野職務代理は開隆堂出版又は日本文教出版、杉原委員は開隆堂出版、比留間委員は日本文教出版、潮委員は開隆堂出版という御意見をいただきましたが、比留間委員、図画工作につきましては開隆堂出版ということでよろしいでしょうか。

○比留間委員 結構です。

○池谷教育長 大野職務代理者も開隆堂出版ということでよろしいでしょうか。

○大野職務代理者 結構です。

○池谷教育長 続きまして、家庭です。家庭は2社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 2社とも調理や裁縫など、見本を見て理解ができるようになっており、児童にとって非常に分かりやすく工夫されているという印象を受けました。

私が好感を持ちましたポイントといたしましては、開隆堂出版では、裁縫の場面で玉結びの仕方を2パターン掲載していた点、また、東京書籍では、調理実習の場面で、調理のみならず調理後の盛りつけの例が記載されている点です。食事は毎日のことですから、マナーなどきちんと押さえることが必要だと改めて感じたところでございます。

どちらもよさがあり、決めきれませんので、意見だけ述べさせていただきます。

○池谷教育長 比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 どちらの教科書も挿絵や写真が見やすく、私もどちらかに決められておりません。また、どちらも学習のめあてや単元ごとの振り返りを「できたかな」といった形でチェックできる仕組みができており、内容も非常に分かりやすいのではないかと思います。

○池谷教育長 大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 先ほど地域とのつながりに関する記載内容について質問をさせていただきましたけれども、家庭科の教科書を見て、まず一番に思ったのは、いわゆるコロナ禍で失われた地域とのつながりの大切さや家族の在り方についてでございます。児童が家庭科を学ぶことで、自分が家族の一員であること、そして、地域の一員であることを認識することは、とても大切なことだと感じました。そこで、地域とのつながりに関する部分を見比べましたときに、より具体的な説明があると思いましたのが開隆堂出版の教科書でございます。私としては開隆堂出版がよろしいのではないかと思います。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理者からは開隆堂出版と御意見がありました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 どちらの教科書もよく工夫されていて、大変迷いましたが、どちらかといえば開隆堂出版がよいように思いました。開隆堂出版は調理について、どのようなよいことがあるだろうと問いかけて、目的、手順だけでなく、調理のよさを子供たちに分かりやすいように本質的に説明していました。また、「ゆでて食べよう」で青菜のおひたしやゆで芋の手順が見やすく、「できたかな」という振り返りについて、開隆堂出版は根元の葉のひだをよく洗う、芋をよくこすって洗うことができた、芋の芽を取り大きさをそろえて切ることができたなどと具体的で、子供たちにとっても分かりやすいと思いました。

御飯の炊き方は、開隆堂出版は文化鍋と透明な鍋の両方が表示されていて、火加減と時間、

手順、状況などが一目で分かりやすいと感じました。

ミシン縫いの單元では、東京書籍は手縫いとミシン縫いの断面図が載っていて、違いが分かりやすく、理解が深まると思いました。このミシン縫いの単元の初めの写真に開隆堂出版は女の子と男の子の両方が載っていて、望ましいと思いました。写真は知らず知らずのうちに意識の中に入っていきますので、ジェンダーバイアスに配慮がされていることも大切なことだと感じました。

2社ともよく工夫されていますが、どちらかといえば私も開隆堂出版がよいと思います。

○池谷教育長 杉原委員からも開隆堂出版と御意見がありました。

潮委員、比留間委員は開隆堂出版又は東京書籍、大野職務代理は開隆堂出版、杉原委員は開隆堂出版という御意見をいただきましたが、4名の委員の皆様から開隆堂出版と挙げていただきましたので、家庭につきましては開隆堂出版ということによろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、保健です。保健は6社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 コロナ禍を経験した中で、感染症予防については、うがい、手洗いの重要性を指導していただいておりますけれども、東京書籍は感染症の予防策について、大変分かりやすい資料が掲載されていると感じました。また、インターネット上の情報に注意すべきことや、感染した人に対する思いやりなど関連情報も充実していることから、東京書籍がよいのかと思います。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理者からは東京書籍と御意見がありました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 子供たちに理解してもらいたい点としまして、心と体の病気の予防、事故の防止について、いずれも詳しく書かれており、掲載されている内容については、いずれも大きな差はないと思いました。見やすさ、書き込みの内容や量という点で考えると、私も東京書籍又は大日本図書がよいと思います。

○池谷教育長 比留間委員からは東京書籍又は大日本図書と御意見伺がありました。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私は、大日本図書、大修館書店、光文書院の3社で悩んだところでございます。6

社とも感染症の予防では、デジタルコンテンツで飛沫の飛び方、換気による空気の流れなど、教科書上には記載されておりませんが、動画を見て理解することができました。その中で、先ほど申し上げました3社は非常に分かりやすいと思ったところがございます。

中でも、大日本図書は各学年に「もっと知りたい」というページがありまして、日常生活の中で知っていそうでよく知らないミニ知識が掲載されておりました。子供の興味・関心を引きのではないかと思います。私は大日本図書がよいと思います。

○池谷教育長 潮委員からは大日本図書と御意見がありました。

杉原委員はいかがでしょうか。

○杉原委員 どの教科書も工夫されていて、私も大変悩みました。心の発達について、大日本図書と光文書院は、社会性、感情、思考力の関わりを関連付けて分かりやすくまとめられていることや、体と心のつながりなど、全体的に把握できて理解が深まると感じました。

病気の予防では、病気の起こり方や感染症の予防など、図示されて関連を把握しやすく、病気の原因と結果が捉えやすいと感じました。

大日本図書は、安心して学んで予防に意欲が湧くように思いました。

光文書院は、単元の扉にコミックが問題意識を持たせるのにととてもよいと思いました。

そのような点から、私は大日本図書又は光文書院がよいと思いました。

○池谷教育長 杉原委員からは大日本図書又は光文書院と御意見がありました。

大野職務代理者は東京書籍、比留間委員は東京書籍又は大日本図書、潮委員は大日本図書、杉原委員は大日本図書又は光文書院という御意見をいただきましたが、3名の委員の皆様から大日本図書と挙げていただきましたので、保健につきましては大日本図書ということでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、英語です。英語は6社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 6社の教科書を様々な観点から比べてみますと、まずは4社がA4サイズ、2社がA5判です。小学生が扱うものとして、やはり大きいほうが見やすさや書き込みのしやすさがあるのではないかと思います。また、単語帳を別冊としてほかに、単語カードの形で備えているなど、英語については他の教科よりも多種多様な工夫がなされていると感じました。

その中で1つを選ぶとしたら、私としては東京書籍がよいと思います。子供たちは既に中学年で外国語活動を行っておりますけれども、書くことについては高学年から学ぶことになります。それゆえ5年生の教科書では、アルファベットなど基礎・基本をしっかりと押さえることが必要だと考えておりますけれども、東京書籍の教科書はそれに沿ったつくりになっていると思います。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理者からは東京書籍と御意見がありました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 どの教科書も大変面白く、多種多様な工夫がされていて、比較するのを忘れるほどそれぞれの教科書を楽しませていただきました。大変迷ったのですが、二次元コードで発音を学ぶほか、音楽のリズムに乗って歌いながら発音の練習ができる、聞きやすいことなどの点から東京書籍がよいように思いました。家庭学習もデジタルコンテンツで行っていくことを考えると、とても取り組みやすいのではないかと思います。また、東京書籍の「My Picture Dictionary」は、同じ内容にアニメ付きと音声のみの発声があり、子供たちが自ら楽しみながら学べるのではないかと感じました。

大変迷いましたが、東京書籍がよいように思いました。

○池谷教育長 杉原委員からも東京書籍と御意見がありました。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私は東京書籍と啓林館で悩みました。

東京書籍は、書式の見やすさ、左利き児童への配慮がされていると感じました。書き込みの罫線は中心の行の幅が広く設定されておりまして、アルファベットにまだ慣れていない児童が書いて形を理解する手助けになっていると感じました。

文字の見やすさにつきましては、啓林館もよいと思いました。啓林館は、デジタルコンテンツにおいてもリズムに合わせて話し、繰り返し発声させる工夫がありました。また、ヒントもありまして、自分で家庭学習などをするときには学びやすいと思ったところがございますけれども、総合的に見まして、東京書籍がよいかと思います。

○池谷教育長 潮委員からも東京書籍と御意見がありました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 私も東京書籍がよいかと思います。個人的には、特に小学生の英語ではより実践的な学習に力を注いでほしいと考えております。将来の受験などに必要な学習というのも

重要ではあるかと思いますが、小学校の授業で英語と触れ合ったときに、聞き取る力、話す力というところをまずは養ってほしいと思います。そのためにノートを取る時間などを短縮できるように教科書に書き込みができるものの方が合理的な学習が期待できると思っております。

○池谷教育長 比留間委員からも東京書籍と御意見がありました。

4人の委員の皆様から東京書籍と挙げていただきましたので、英語につきましては東京書籍ということでよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 続きまして、道徳です。道徳は6社ございます。

委員の皆様、いかがでしょうか。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 まず、掲載されている題材や内容については、どれもすばらしく、大きな差はないと感じました。また、以前中学校の道徳の教科書で話題となりました「泣いた赤鬼」につきましては、ほとんどの教科書で採用されておりました。

どの教科書も巻頭において、道徳で何を学ぶのかというものが書かれております。自分のこと、相手や周りの人のこと、社会のこと、自然や命のことなど、いずれも分かりやすく表現されております。その中で、光村図書出版については、「どうとくで学ぶ19から22のとりら」と題しまして、明確にとっても分かりやすく表現されており、よいと思いました。

○池谷教育長 比留間委員からは光村図書出版と御意見がありました。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 私も光村図書出版がよいと思っております。比留間委員がおっしゃったように、いきなり題材に入るのではなく、道徳で何を考える必要があるのか巻頭で学ぶ項目が示され、かつ狙いが明示されていることから、光村図書出版がよろしいのではないかと考えたところです。

以上です。

○池谷教育長 大野職務代理からも光村図書出版という御意見がありました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 私は日本文教出版と光村図書出版がよいと思いました。特に日本文教出版ですが、「わたしのせいじゃない」というのは、いじめを考える場面で子供たちが違った立場から様々な意見を引き出せるように工夫されていると感じました。いじめはよくないということは分

かっている、傍観者の立場の意識が大きな課題でもあります。そこに焦点を当てて、深く考えさせることができると感じました。

また、日本文教出版は、「GOGO（ゴゴ）94歳の小学生」は、学びたかったのに学べなかった子供時代のこと、94歳で小学生として学び始めたことなど、学ぶとは何かを考える感動的な教材でした。日本文教出版には道徳ノートがついていますが、シンプルで使い勝手がよいように思いました。

光村図書出版は、みんなで気持ちよく話し合うためのコツや自分の考えの変化を伝えるときなど、道徳を通して考え、話し合うことで、自分の心を育ててほしいという思いが伝わってきました。

大変迷いましたが、日本文教出版又は光村図書出版がよいと思いました。

○池谷教育長 杉原委員からは日本文教出版又は光村図書出版と御意見がありました。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 杉原委員からいじめを考える話もございましたけれども、私は現代の課題でありますインターネットの取扱いについて見させていただきました。どれも主人公の気持ちはどうだったのか、また自分事ならどうなのかという両面から考えさせる内容になっておりました。その中で、光村図書出版と東京書籍は、教材となる物語の内容がとても分かりやすいと感じました。また、光村図書出版では、2年生のお年玉の使い方、東京書籍では、伝統文化の継承などが本市の児童の実態に合っている題材であると感じました。

申し訳ございませんが、意見のみお伝えさせていただきます。

○池谷教育長 比留間委員、大野職務代理者は光村図書出版、杉原委員は光村図書出版又は日本文教出版という御意見をいただきましたが、3名の委員の皆様から光村図書出版と挙げていただきましたので、道徳につきましては光村図書出版ということで、杉原委員、潮委員、よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○池谷教育長 以上で、国語から道徳までの13の種目について、委員の皆様の御意見を伺いました。いただきました御意見に従いまして、議案別紙を作成いたします。

ここで議案別紙作成のため、暫時休憩いたします。

午後1時50分頃に再開いたしますので、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

午後 1時34分休憩

午後 1 時 5 0 分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

日程第 2、議案第 44 号の議事を継続いたします。

議案別紙について、教育総務課長より朗読いたさせます。

佐藤教育総務課長、お願いします。

○佐藤教育総務課長 それでは、朗読いたします。

別紙、選定図書、武蔵村山市立小学校令和 6 年度使用教科用図書。

種目、発行者、書名の順で朗読いたします。

国語、光村図書出版、「国語」。

書写、光村図書出版、「書写」。

社会、東京書籍、「新編 新しい社会」。

地図、帝国書院、「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」。

算数、東京書籍、「新編 新しい算数」。

理科、大日本図書、「新版たのしい理科」。

生活、大日本図書、「新版たのしいせいかつ」。

音楽、教育芸術社、「小学生の音楽」。

図画工作、開隆堂出版、「図画工作」。

家庭、開隆堂出版、「わたしたちの家庭科」。

保健、大日本図書、「新版たのしい保健」。

英語、東京書籍、「NEW HORIZON Elementary」。

道徳、光村図書出版、「道徳 きみがいちばんひかるとき」。

以上でございます。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。特によろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

(発言する者なし)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより議案第 44 号 武蔵村山市立小学校令和 6 年度使用教科用図書の採択についてを採決いたします。

武蔵村山市立小学校令和 6 年度使用教科用図書については、別紙のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、武蔵村山市立小学校令和 6 年度使用教科用図書については原案のとおり決しました。

◎日程第 3 議案第 45 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 6 年度使用教科用図書の採択について

○池谷教育長 日程第 3、議案第 45 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 6 年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

議案の朗読は省略させていただきます。

議案第 45 号の提案理由を説明させていただきます。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条の規定により、小学校特別支援学級令和 6 年度使用教科用図書を採択する必要があるので、本案を提出するものでございます。

なお、内容につきましては、加藤指導・教育センター担当課長から説明いたさせますので、よろしく御審議の上、御決定を賜りたくお願い申し上げます。

加藤指導・教育センター担当課長、お願いします。

○加藤指導・教育センター担当課長 それでは、議案第 45 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 6 年度使用教科用図書の採択についてを御説明いたします。

学校教育法第 34 条第 1 項に、「小学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。」と定められております。

このことに関して、特別支援学級で使用する教科用図書については、同法の附則第 9 条において、第 34 条第 1 項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができると定められております。これを踏まえ、資料 2、教科書採択資料作成委員会報告書、特別支援学

級用に示されております図書が、採択の対象となる教科用図書となります。

別紙、武蔵村山市立小学校特別支援学級令和6年度使用教科用図書は、この報告書を一覧にしたものでございます。

それでは、別紙について御説明いたします。

生活は6社から13冊、国語は2社から5冊、書写は2社から5冊、算数は3社から5冊で
ございます。

特別支援学級におきましては、児童一人一人の障害の実態等に対応する必要があることから、教科ごとに通常の学級で使用する文部科学省検定済み教科書を同様に使用する児童や、文部科学省著作教科書を使用する児童、本報告書に示されている図書を教科書として使用する児童など、個々に使用することになる教科書が異なることを踏まえ、同委員会が十分に精査、検討した上で本報告書が作成されております。

委員の皆様には、御意見等がございましたら御協議いただき、御採択くださいますよう、
お願いいたします。

また、中学校の特別支援学級教科用図書につきましては、令和6年度は該当する生徒の実態から全生徒が全ての教科において、通常の学級で使用する文部科学省検定済み教科書を使用し、適宜、補助教材を活用して指導することが望ましいと同採択委員会が協議、判断をしたため、教科書採択資料作成委員会報告書をもって報告する該当図書はないとのこと
でございます。

なお、文部科学省検定済み教科書につきましては、先ほどの議案第44号で議決をいただき
ました教科書でございますので、詳細につきましては別紙を御確認ください。

特別支援学級在籍の児童・生徒につきましては、一人一人の実態に応じて採択を経た文部
科学省検定済み教科書、もしくは文部科学省著作教科書、または本日これから御採択いた
だく、いわゆる一般図書のいずれかを教科書として、教科ごとに1冊ずつ無償で配布し、学
習に供することとなりますので、御理解を賜りますようお願いをいたします。

以上でございます。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

なお、質疑につきましては一括して行うことにいたします。

委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

なお、討論についても一括して行うことといたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより議案第 45 号 武蔵村山市立小学校特別支援学級令和 6 年度使用教科用図書の採
択についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり決しました。

◎日程第 4 その他

○池谷教育長 日程第 4、その他に入ります。

委員の皆様からの報告等の御発言があればお受けいたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 事務局からの報告等の御発言があればお受けいたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 これをもって、その他を終わります。

◎閉会の辞

○池谷教育長 以上で、本臨時会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもって、令和 5 年第 1 回教育委員会臨時会を閉会いたします。

長時間ありがとうございました。

午後 1 時 59 分閉会